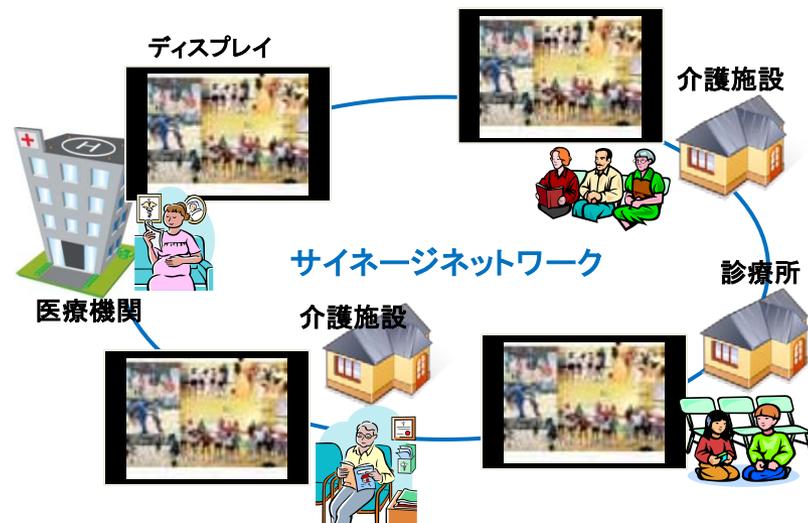
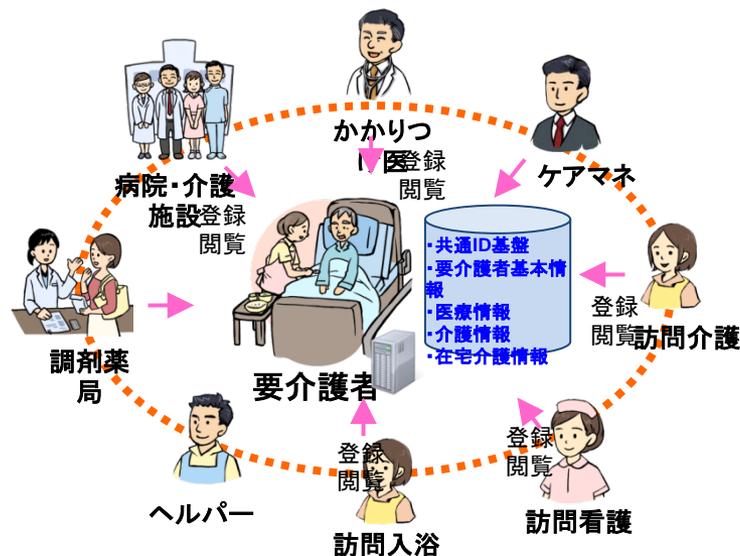


実施団体名	運営主体(予定)	利活用分野	主なシステム機器等
連携主体(中土佐町、須崎市)	連携主体	医療、介護、福祉	サーバ、PC、通信機器

事業概要	期待される効果
<p>医療機関、介護施設等のそれぞれで発生する情報を、共通IDを元に登録・共有することにより、医療・介護サービス提供者全体の連携を促進し、見守り等を含めたサービスレベルを向上するとともに、「地域リハビリテーション連絡票」の情報を高齢者を取り巻く様々なサービス提供者間で、ICTを活用して広域で共有し、もって高齢者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上を図る。あわせて、デジタルサイネージを使用し、高齢者や介護家族に向けてタイムリーな情報を配信することにより、情報格差を防ぎ、誰もが必要な知識を得、必要な支援を受けられるようにする。</p>	<p>要介護者等高齢者の情報をサービス提供者間で共有する事により、切れ目のない継続的なサービスを提供する事が可能となり、高齢者及び家族の利便が著しく向上する。また、デジタルサイネージによる情報発信で、健康啓発、介護啓発により、情報格差が是正され、地域での見守り体制の充実と要介護者等高齢者及びその家族を含めた地域住民の満足度が向上する。</p>



■医療介護連携システム

医療介護連携システムでは、住民に対して共通IDを割り振り、医療介護関連の情報を一元管理する。病院、かかりつけ医等医師、介護施設、在宅でのサービス提供者等のそれぞれで発生する情報を共通IDを元に登録し、共有することにより、サービス提供者の連携を促進し、サービスレベルの向上を図り、要介護者等高齢者の満足度向上を目的とする。また、サービス提供者のデータ入力を容易にするために、XMLベースでの医療介護データの定義を行い、現在利用している電子カルテや介護システム等から容易にデータ連携が行える接続インターフェースを確立するとともに、要介護者宅でのデータの登録・閲覧が簡単に行えるようモバイル端末からの利活用環境整備を行う。

■医療介護サイネージネットワークシステム

デジタルサイネージを使用し、高齢者や介護家族に向けてタイムリーな情報を配信することにより、情報格差を防ぎ、誰もが必要な知識を得、必要な支援を受けられるようにする。あわせて、疾病予防、介護予防に関する情報を一般市民向けに配信することで、生活習慣病の予防や介護予防を促す。また、地域情報等を住民投稿型で提供し、地域の交流を促進する。